



さ さ づ か

〈教育目標〉

- 互いの違いを認め 高め合う子
- 主体的に学び 創造する子
- 心身をきたえ たくましい子

令和4年2月22日発行

Tel 3377-2345 Fax 3377-2466 HP <https://shibuya.schoolweb.ne.jp/sasashoe> 校長 荒木 憲秀

令和3年度 学校評価について

令和3年度の学校評価結果についてお知らせします。昨年12月に保護者の皆様や児童を対象に実施させていただきましたアンケート結果も踏まえながら、第7回・第8回学校運営協議会において学校関係者評価を実施しました。以下にその概要をお知らせいたします。なお、各項目についての自己評価・学校関係者評価の詳細につきましては、学校ホームページ内、「学校の取組」>「学校評価」ページに掲載しておりますので、そちらからご確認ください。→ [こちら](#)

令和3年度 学校関係者評価結果 (令和4年1月17日/2月22日 実施)

(1) シブヤモデルの実現 (未来の学校に向けた学びの改革)	【自】	【関】
① 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進し、学びの質の向上を図る。	B	B
② ICT 機器や情報を、正しく効果的に活用することのできる資質・能力を育成する。	A	
③ 渋谷区や笹塚の街への誇りと愛着をもち、よりよくしていこうとする態度を育成する。	B	
④ 生活科・総合的な学習の時間を中心とした、探究型の学びの充実を図る。	B	
(2) 安心・安全に挑戦できる環境について	【自】	【関】
① 互いのよさを認め合い、思いやりの心や自他を尊重する態度を育成する。	B	B
② いじめや不登校等の問題について、未然防止と早期発見・早期解決に努める。	B	
③ 特別支援教育に関する専門性を高め、インクルーシブ教育の推進に努める。	B	
④ 道徳教育や人権教育の充実を通して、差別のない社会や多様性への理解を深める。	A	
(3) 働き方改革について	【自】	【関】
① 学校行事の精選やスリム化を図り、時間や手間を減らして成果をあげる。	A	A
② 校務運営において ICT を活用し、情報の共有や打合せ時間の削減に努める。	B	
③ メンタルヘルス支援に努め、職員が生き生きと働くことのできる職場環境をつくる。	B	
④ ICT を活用した「新しい働き方」を推進し、ワーク・ライフ・バランス改善を図る。	A	
(4) 家庭・地域との連携について	【自】	【関】
① 学校運営協議会における協議を活性化させ、地域に開かれた教育課程の実現を目指す。	A	B
② 地域学校協働本部の活動を活性化させ、地域人材・団体の参画を推進する。	A	
③ 学校行事や校外学習支援をはじめ、PTA・保護者との連携を図る。	B	
④ 小中・幼保小連携事業を充実させ、学びを意識した互恵性のある連携の実現を図る。	B	
(5) 特色ある教育活動について	【自】	【関】
① 特別活動の充実を通して、自主的・実践的に関わり活動を工夫する力を育成する。	A	B
② 学校図書館の活用促進を通して、読解力や探究力の向上を図る。	B	
③ 伝統文化体験や英語活動を通じ、自国・他国の文化を大事にする心や豊かな国際感覚を育てる。	C	
④ 鼓笛隊活動や地域行事への積極的な参加を通じて、地域社会の一員としての意識を高める。	C	

【自】：自己評価 【関】：学校関係者評価 A：十分達成できた B：おおむね達成できた C：未達成

評価の参考にさせていただきました、保護者アンケートおよび児童アンケートの結果は以下の通りです。グラフ右の数値は、「十分達成されている」「達成されている」という回答の合計の割合を示します。全体的に7～8割程度から肯定的な回答をいただいた項目が多く、学校の取組について一定の評価はしていただいたもの受け止めております。

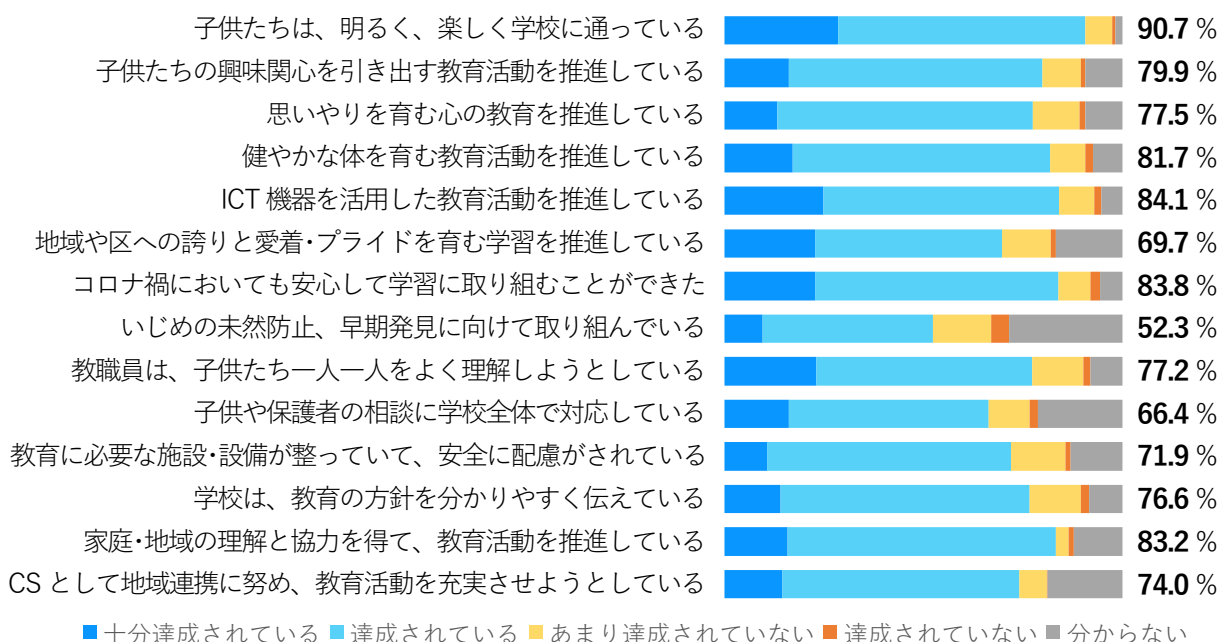
昨年度とは質問の文言が変わっているため単純な比較はできませんが、「教育活動と子供の様子」については昨年度の類似項目と比べ、肯定的な回答の割合が少しずつ高くなっています。一方で、「教職員」「学校施設設備」に関する項目では肯定的な回答の割合が昨年度より低くなっており、次年度に向けて改善すべき最優先課題と捉えています。

まだ十分に満足できる数値ではないにせよ、昨年度課題であった「家庭・地域との連携」の項目の数値が大きく伸びたことは、この1年間の取組の成果であったと考えます。引き続き拡充に努めてまいります。

令和3年度 学校評価のためのアンケート調査結果

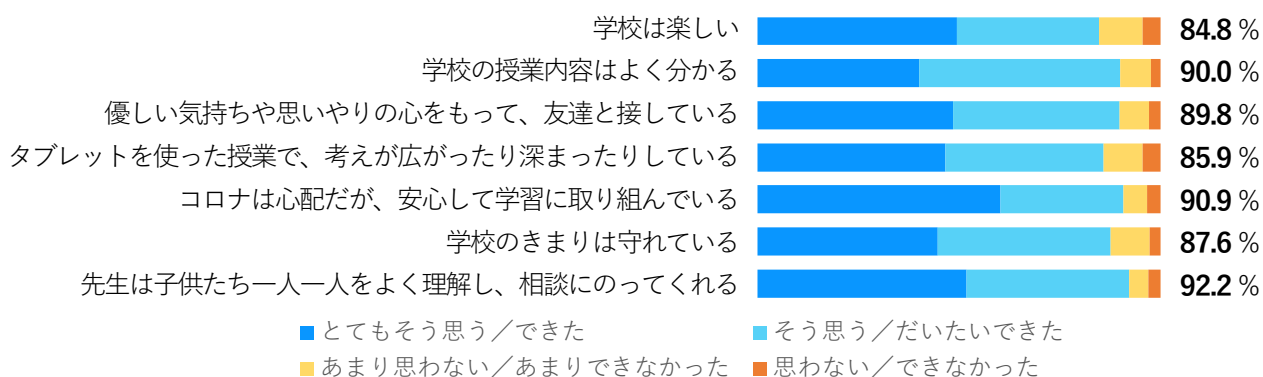
(1) 保護者

実施 令和3年12月 対象 本校保護者414家庭 回答数333家庭 (回答率80.4%)



(2) 児童

実施 令和3年12月 対象 本校児童498名 回答数461名 (回答率92.6%)



学校評価結果を踏まえ、令和4年度の教育活動方針についての検討を行い、教育課程の編成を行いました。学校教育目標と3つの基本方針の柱に変更はありませんが、① 東京2020学校レガシーとしての伝統文化体験と連動した外国語(活動)の充実、② 各教科および総合的な学習の時間における探求型学習のさらなる充実、③ 令和の日本型教育を支えるツールとしてのタブレットのさらなる活用と、デジタル・シティズンシップ教育推進、④ 近隣校園との学びの接続も含めた、さらなる地域連携強化等を新しく追加し、教育目標の達成を目指してまいります。今後とも、ご理解・ご支援をよろしくお願い申し上げます。